



栃木県の財政状況

平成24年10月



目次

- | | | | |
|---|-----------------------------|----|----------------------|
| 1 | 栃木県の概要 | 10 | 平成23年度決算に基づく健全化判断比率等 |
| 2 | 平成24年度栃木県の財政規模 | 11 | 各種財政指標 |
| 3 | 平成24年度歳入予算の状況
（一般会計） | 12 | 「とちぎ未来開拓プログラム」の策定 |
| 4 | 平成24年度歳出予算の状況
（一般会計） | 13 | 「とちぎ未来開拓プログラム」の概要 |
| 5 | 栃木県財政の推移（一般会計） | 14 | 平成23年度におけるプログラムの取組結果 |
| 6 | 平成23年度決算の状況
（普通会計） | 15 | プログラム取組後の財政収支の見込み |
| 7 | 平成23年度決算の状況
（公営企業会計・法適用） | 16 | 県債の発行状況 |
| 8 | 県債発行・公債費の推移 | 17 | 全国型市場公募債の発行について |
| 9 | 基金残高の推移 | 18 | 格付けの取得 |
| | | 19 | 問い合わせ先 |

[参考資料]

- | | | | |
|---|---------------------|----|----------------------------------|
| 1 | 普通会計決算 収支等の状況 | 7 | 一般会計当初予算 歳出の状況（性質別） |
| 2 | 普通会計決算 歳入の状況 | 8 | 地方三公社 決算の状況 |
| 3 | 普通会計決算 歳出の状況（目的別） | 9 | 外郭団体の状況 |
| 4 | 普通会計決算 歳出の状況（性質別） | 10 | 債務負担行為の状況（普通会計） |
| 5 | 一般会計当初予算 歳入の状況 | 11 | 「とちぎ未来開拓プログラム」取組期間の収支見込みに
ついて |
| 6 | 一般会計当初予算 歳出の状況（目的別） | | |

栃木県の概要



面積: 6,408km²(関東最大) <全国第20位>
 人口: 2,000,021人(H23.10.1現在) <全国第19位>
 市町村数: 14市12町(H24.10.1現在)

恵まれた県土

- ・東京から60～160km
- ・一人あたりの県民所得は
H21 2,859千円 <全国第9位>
- ・東北道・北関東道等が交わる北関東の要所
※H23.3.19 北関東道全線開通

豊かな自然環境

- ・日光国立公園は、ラムサール条約登録湿地「奥日光湿原」、日本三大名瀑の一つ「華厳の滝」で有名
- ・水がおいしい

豊かな人材

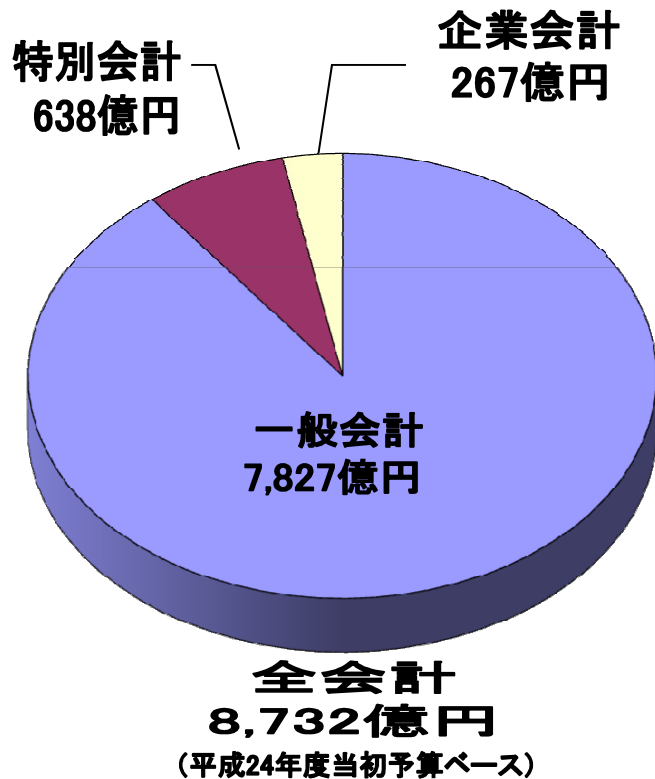
- ・「誠実、勤勉、人柄が良く人情味がある」と言われる県民性
- ・県民栄誉賞 船村徹(作曲家)
渡辺貞夫(音楽家)
安藤梢、鮫島彩
(女子サッカー選手) など

誇り輝く“とちぎブランド”

- 農業産出額H22 2,552億円 <全国第10位>
 - ・とちぎのいちごは平成23年産まで43年連続収穫量日本一
 - ・「とちぎ和牛」も有名
- 製造品出荷額等
H22 8兆4,591億円 <全国第11位>
 - ・カメラ用交換レンズ 日本一
 - ・日産、ホンダなどの自動車生産・研究拠点が県内に展開
- 企業立地件数H23 24件 <全国第14位>
- 優れた歴史・文化
 - ・世界文化遺産「日光の社寺」
 - ・日本最古の学校「足利学校」
 - ・近代産業遺産「足尾銅山」
 - ・那須烏山市の「山あげ祭り」
 - ・栃木市の「人形山車」
 - ・ユネスコ文化遺産の結城紬など

平成24年度栃木県の財政規模

- ・ 平成24年度の財政規模は、8,732億円(全会計ベース)
- ・ 一般会計のほかに、特別会計10会計、企業会計6会計を設置



I 一般会計

7,827億円

II 特別会計

(億円)

①公債管理	481	②自動車取得税・自動車税納税証紙	51
③馬頭最終処分場事業	5	④県営林事業	3
⑤林業・木材産業改善資金貸付事業	1	⑥母子寡婦福祉資金貸付事業	4
⑦心身障害者扶養共済事業	3	⑧小規模企業者等設備資金貸付事業	11
⑨就農支援資金貸付事業	8		
⑩流域下水道事業	71		

普通会計

III 企業会計

(億円)

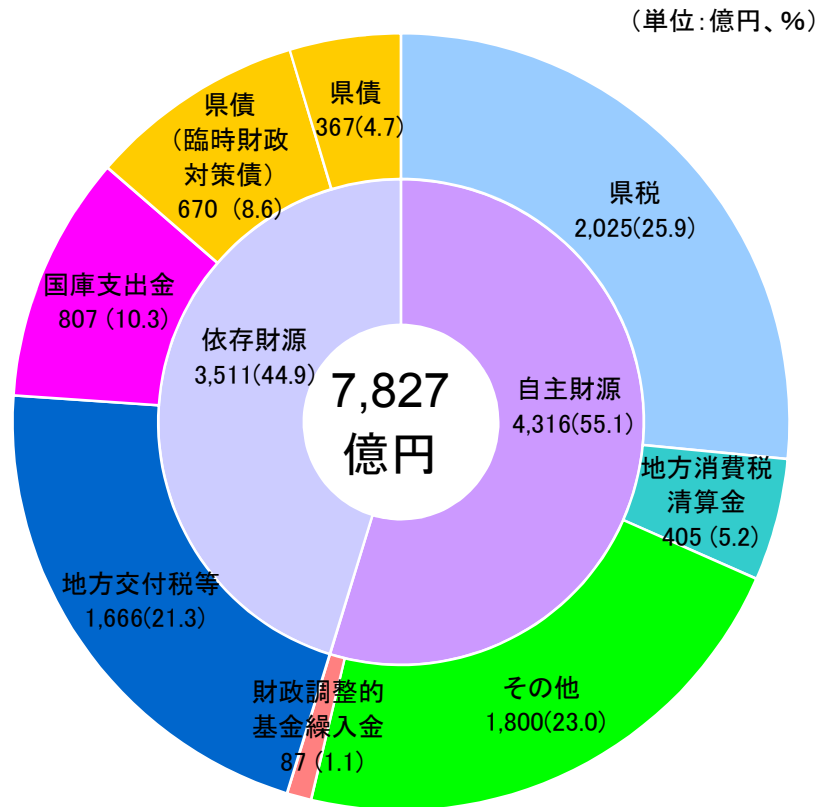
①病院事業	166	②電気事業	32
③水道事業	22	④工業用水道事業	11
⑤用地造成事業	31	⑥施設管理事業	5

公営企業会計

平成24年度歳入予算の状況(一般会計)

- ・ 県税は、東日本大震災や円高等の影響もあり、5億円の減
- ・ 地方譲与税や地方交付税などは増加したが、引き続き財源不足が生じたことから、財政調整的基金を取り崩して対応
- ・ 自主財源比率は上昇(H23:54.7%→H24:55.1%)

(単位:億円、%)

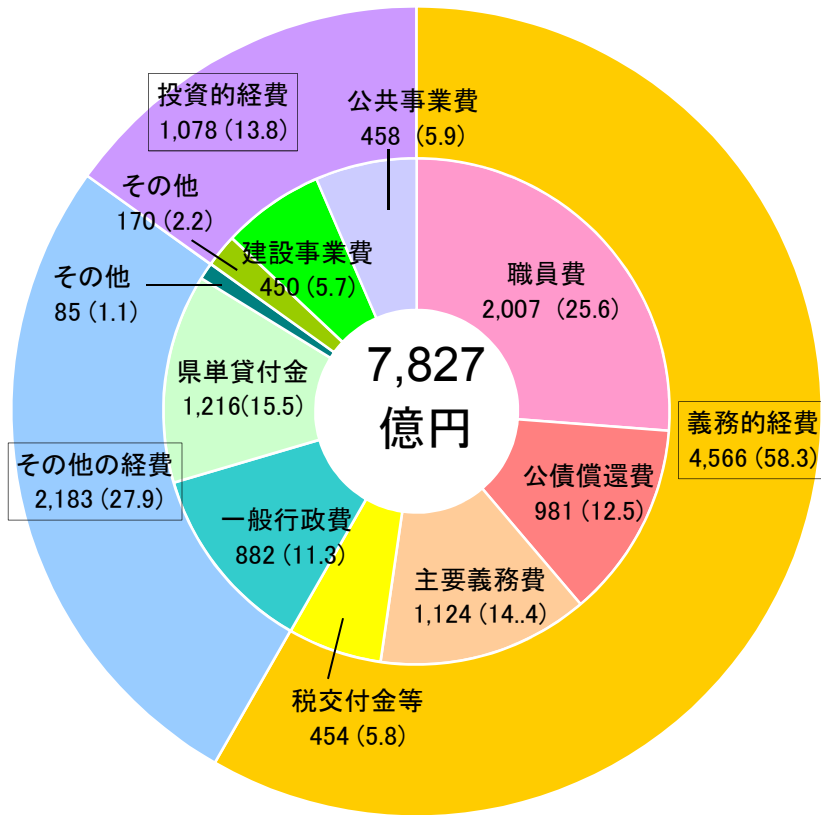


区 分	平成24年度		平成23年度		比較	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
県税	2,025	25.9%	2,030	26.5%	▲5	▲0.2%
地方消費税清算金	405	5.2%	390	5.1%	15	3.8%
その他	1,800	23.0%	1,692	22.1%	108	6.4%
財政調整的基金繰入金	87	1.1%	78	1.0%	9	11.5%
自主財源 計	4,316	55.1%	4,190	54.7%	126	3.0%
地方交付税等	1,666	21.3%	1,634	21.4%	32	2.0%
国庫支出金	807	10.3%	786	10.3%	21	2.7%
県債(臨時財政対策債)	670	8.6%	690	9.0%	▲20	2.9%
県債(通常債)	367	4.7%	354	4.6%	13	3.7%
依存財源 計	3,511	44.9%	3,464	45.3%	47	1.4%
合 計	7,827	100.0%	7,654	100.0%	173	2.3%

平成24年度歳出予算の状況(一般会計)

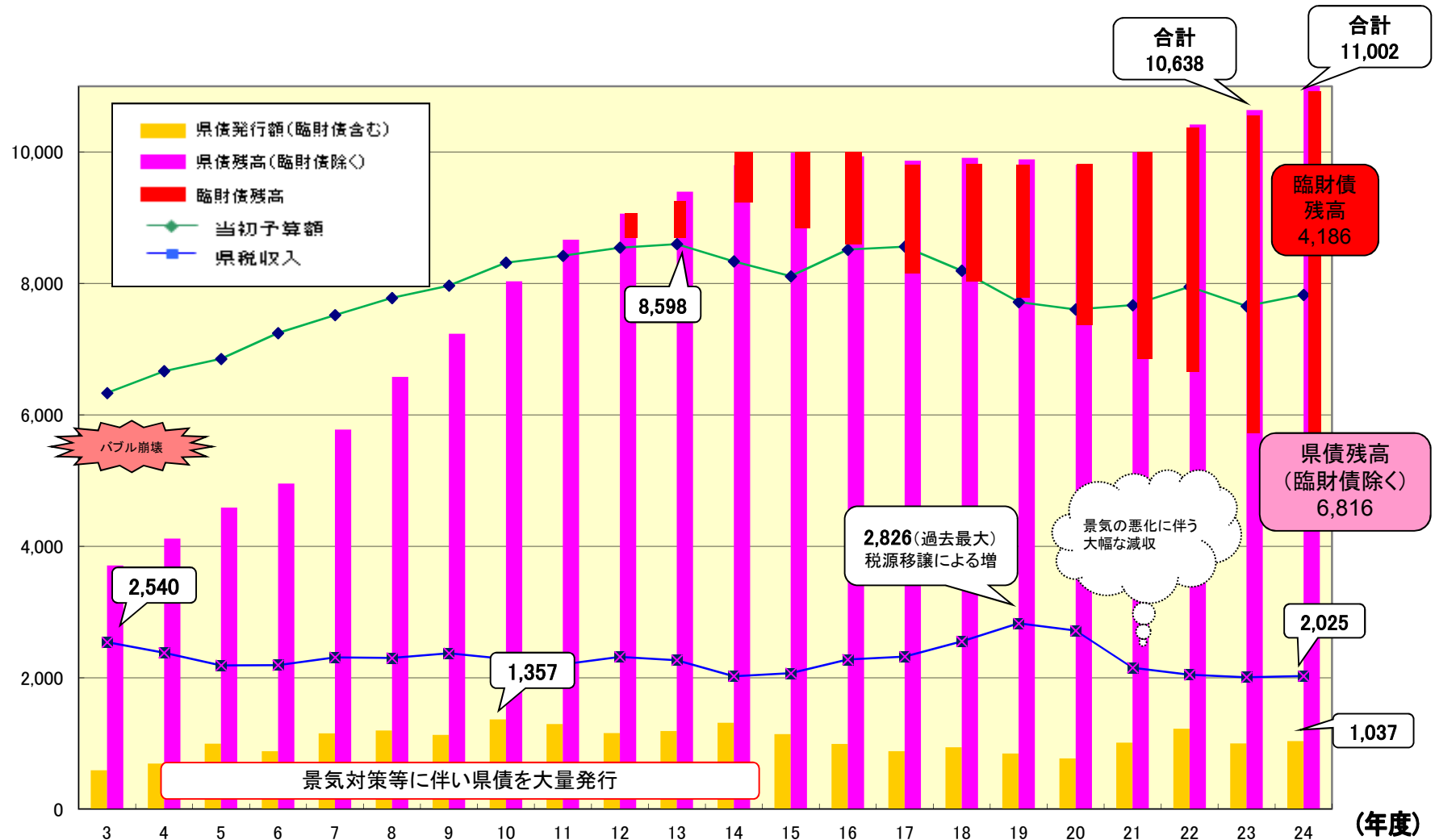
- ・ 震災復興対策に積極的に取り組むとともに、2年目となる栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」を着実に推進
- ・ 医療福祉関係経費の伸びにより、主要義務費が増加(前年度比+9.0%)
- ・ 投資的経費は、国の経済対策による基金事業が減になったことにより減少(前年度比▲6.8%)

(単位:億円、%)



区 分	平成24年度		平成23年度		比較	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
職員費	2,007	25.6%	2,008	26.2%	▲1	▲0.1%
公債償還費	981	12.5%	961	12.6%	20	2.1%
主要義務費	1,124	14.4%	1,032	13.5%	92	9.0%
税交付金等	454	5.8%	461	6.0%	▲7	▲1.5%
義務的経費計	4,566	58.3%	4,462	58.3%	104	2.3%
一般行政費	882	11.3%	930	12.1%	▲48	▲5.2%
県単貸付金	1,216	15.5%	1,022	13.4%	194	19.0%
その他	85	1.1%	83	1.1%	2	2.4%
その他の経費計	2,183	27.9%	2,035	26.6%	148	7.3%
公共事業費	458	5.9%	496	6.5%	▲38	▲7.6%
建設事業費	450	5.7%	500	6.5%	▲50	▲10.0%
その他	170	2.2%	161	2.1%	9	5.6%
投資的経費計	1,078	13.8%	1,157	15.1%	▲79	▲6.8%
合計	7,827	100.0%	7,654	100.0%	173	2.3%

栃木県財政の推移(一般会計)



国等の動き



※ 年度末県債残高、県債発行額及び県税収入は、23年度までは決算額。24年度は当初予算額

平成23年度決算の状況(普通会計)

- ・ 歳入は2年連続で減少し、歳出は増加
- ・ 県税収入は、東日本大震災の影響等による法人二税及び地方消費税の減などにより、4年連続の減少(前年度比▲2.2%)
- ・ 投資的経費は、2年連続の減少
- ・ 公債費は、近年の投資的経費の抑制等により7年連続の減少 (億円、%)

区分		23年度	22年度	増減額	伸び率
歳入総額	a	7,959	7,974	▲ 15	▲ 0.2
	うち 県税収入	2,007	2,052	▲ 45	▲ 2.2
	うち 基金繰入金 ※	0	4	▲ 4	皆減
歳出総額	b	7,795	7,743	52	0.7
	うち 人件費	2,242	2,241	1	0.1
	うち 投資的経費	1,068	1,197	▲ 129	▲ 10.8
	うち 公債費	934	961	▲ 27	▲ 2.8
形式収支	c=a-b	164	231	▲67	▲29.0
繰越財源	e	99	148	▲49	▲33.1
実質収支	d=c-e	65	83	▲18	▲21.7

※基金＝財政調整的基金(財政調整基金、県債管理基金、県有施設整備基金、社会福祉施設整備金)

平成23年度決算の状況(公営企業会計・法適用)

●損益勘定は、病院事業で赤字

《病院事業》		《電気事業～施設管理事業》	
<p>3つの専門病院を経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ①精神科医療 ②がん医療 ③リハビリテーション医療 	<p>「栃木県立病院改革プラン」を策定し、収益改善に取り組む。</p>	<p>企業局において 5事業を展開</p>	<p>「栃木県企業局中期経営計画(18～22年度)」に続く「栃木県企業局経営計画(23～27年度)」を策定し、自立的かつ持続可能な経営体制の確立を図る。</p>

(億円)

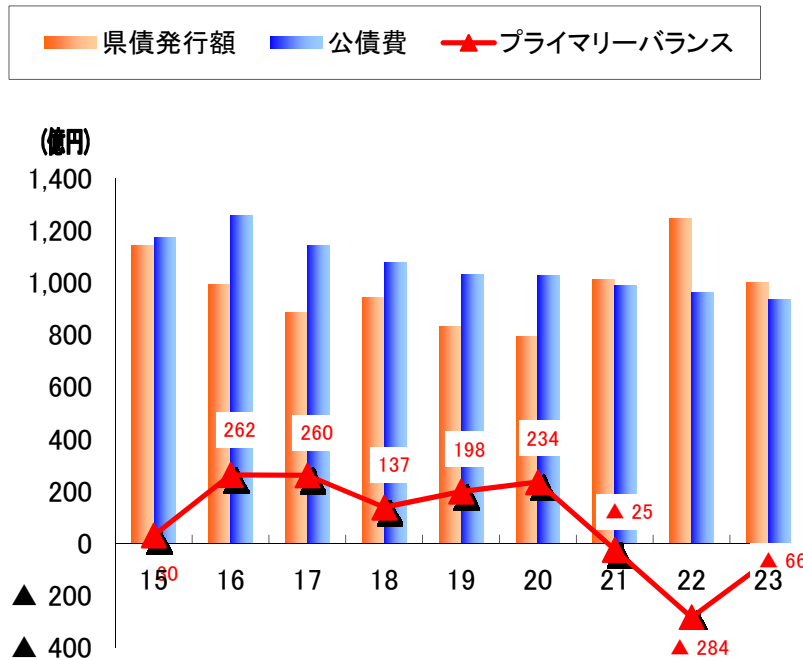
区 分		病院事業	電気事業	水道事業	工業用水道事業	用地造成事業	施設管理事業
収益的収支	事業収益	127	21	19	6	6	5
	うち営業収益	96	21	18	5	6	2
	事業費用	131	19	15	5	5	4
	うち営業費用	124	17	13	4	4	4
	収支差引	▲4	2	4	1	1	1

貸借対照表	資産の部	283	172	203	233	207	35
	負債の部	24	12	20	19	6	7
	資本の部	259	160	183	215	202	28
	自己資本金	101	100	99	8	113	30
	借入資本金	182	32	23	21	142	11
	剰余金	▲24	27	62	186	▲54	▲13

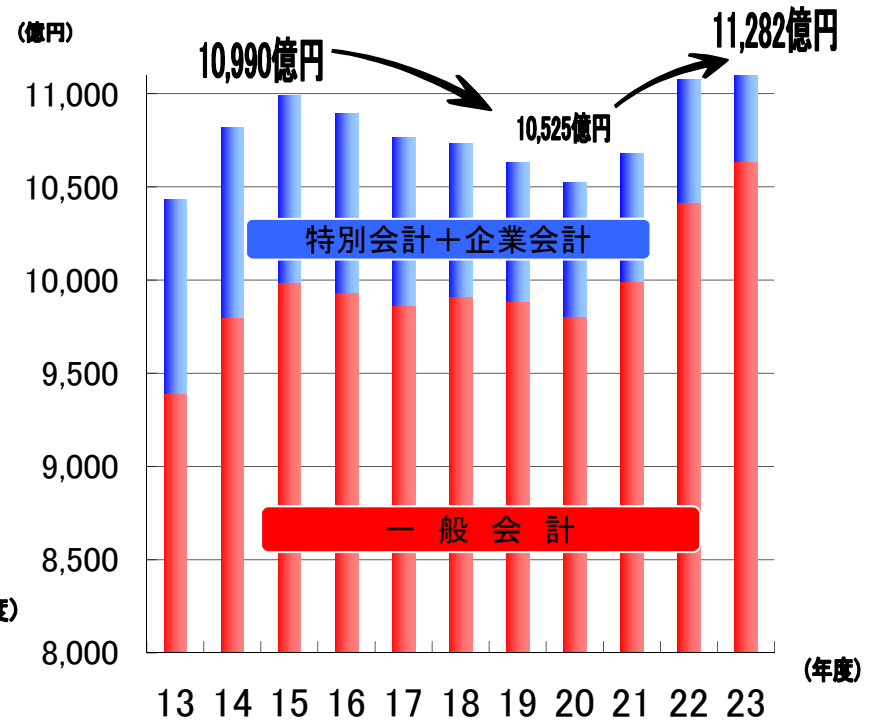
県債発行・公債費の推移

- ・ 普通会計のプライマリーバランスは、臨時財政対策債の大量発行に伴い3年連続赤字
- ・ 一般会計県債残高は、臨財債発行額の大幅な増加により、3年連続の増。平成23年度末残高(10,637億円)のうち約3分の1(3,670億円)が臨財債であり、臨財債を除く残高は平成14年度をピークに、一貫して減少。
- ・ 第5期行政改革大綱(H23~27)においては、平成27年度末の臨財債を除く県債残高を平成21年度末(7,645億円)よりも減少させることを目標としており、引き続き投資的経費を抑制し県債残高の圧縮に努める。

発行額及び償還額

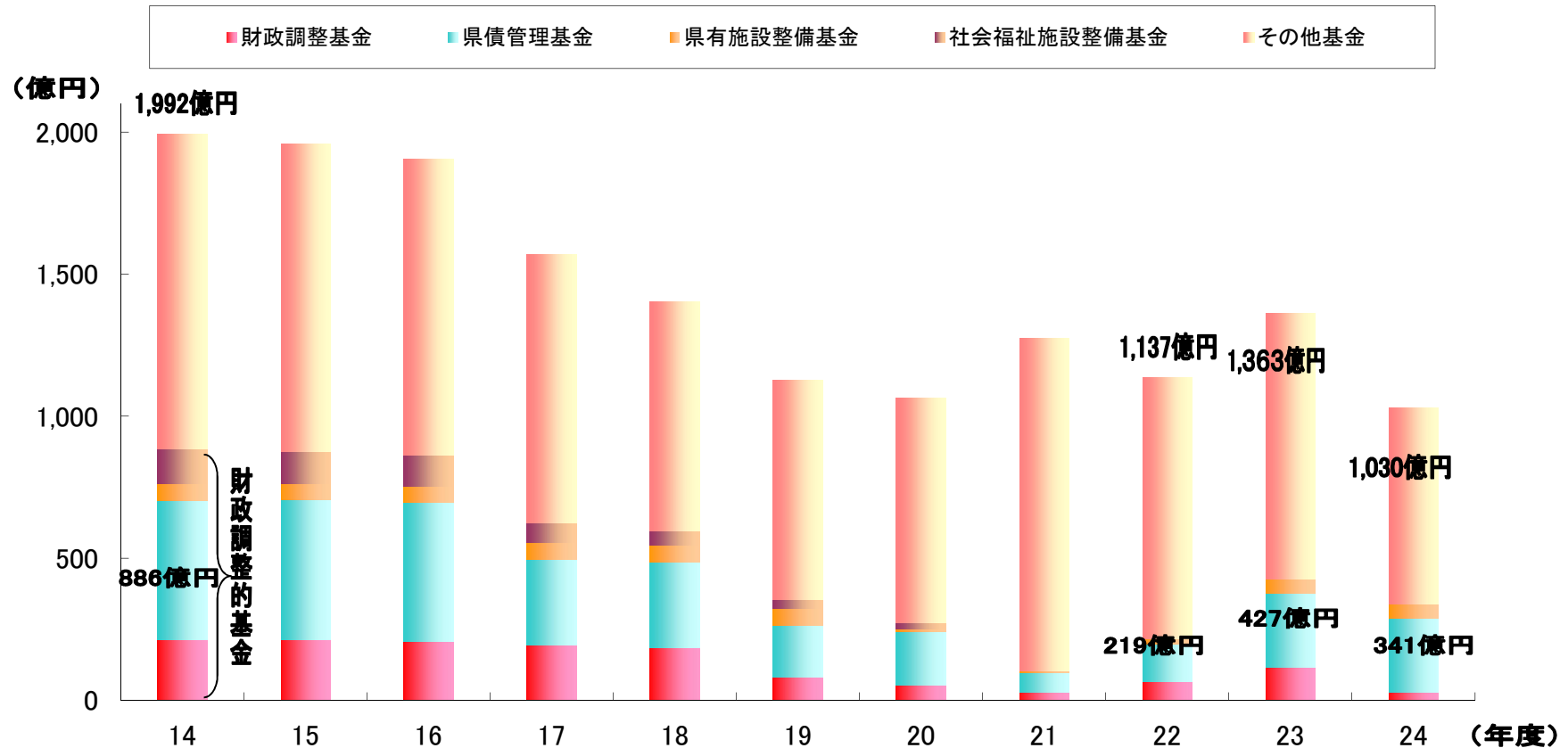


県債残高の推移



基金残高の推移

- 平成23年度は、とちぎ未来開拓プログラムに基づく取組等の結果、当初予定していた財政調整基金等の取崩しを取り止め、さらに県債管理基金等への積立を行った。これにより、財政調整的基金の平成23年度末残高は427億円となり増加。平成24年度末には341億円程度となる見込み。



※ 23年度までは決算ベース。24年度は当初予算ベース
 ※ 満期一括償還に要する経費は、別途積立(県債管理基金)



平成23年度決算に基づく健全化判断比率等

財政の健全性の度合いを示す5つの指標全てにおいて健全段階である。

指標名	対象範囲	本県 ^{※2}	全国平均 ^{※3}	財政健全化法	
				早期健全化基準	財政再生基準
1 実質赤字比率	一般会計等 ^{※1}	—	—	3.75以上	5以上
2 連結実質赤字比率	一般会計等 公営事業会計	—	—	8.75以上	15以上
3 実質公債費比率	一般会計等 公営企業会計	11.3 〈全国第4位〉	13.9	25以上	35以上
4 将来負担比率	一般会計等 公営事業会計 一部事務組合 地方公社 第三セクター	146.0 〈全国第5位〉	217.5	400以上	
5 資金不足比率	公営企業会計	—	—	20以上	

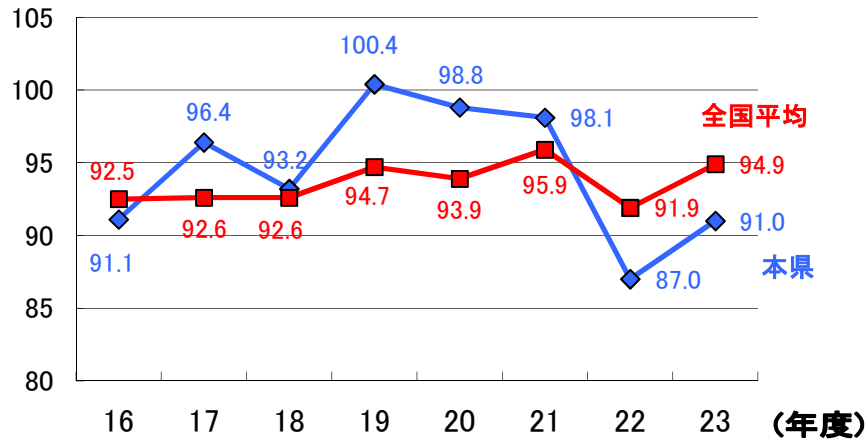
※1 一般会計等には、本県では9特別会計(公債管理、自動車取得税・自動車税納税証紙、馬頭最終処分場事業、県営林事業、林業・木材産業改善資金貸付事業、母子寡婦福祉資金貸付事業、心身障害者扶養共済事業、小規模企業者等設備資金貸付事業、就農支援資金貸付事業)が含まれる。

※2 本県欄の「—」表示は黒字であることを示す。

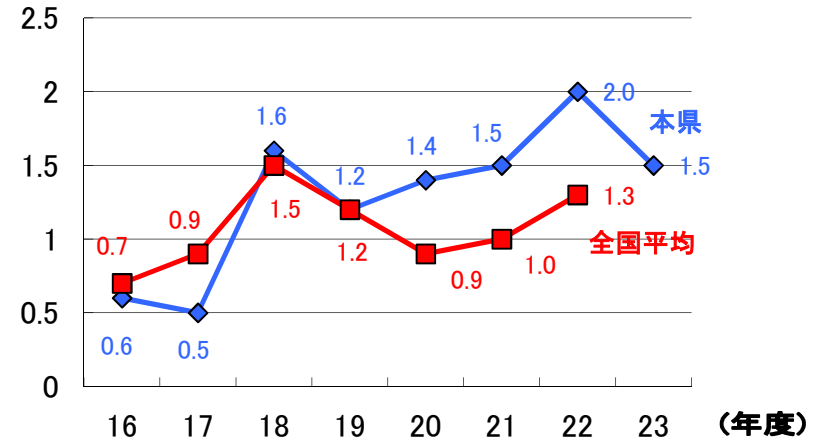
※3 H24.9.28 総務省発表(速報)。

各種財政指標

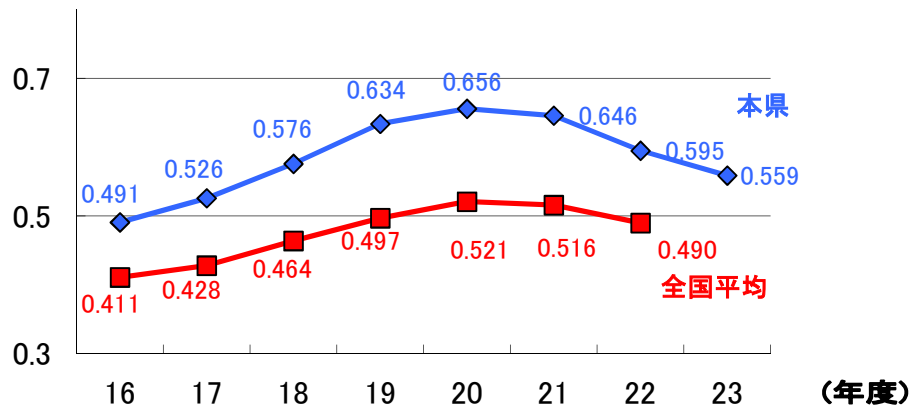
〔経常収支比率〕



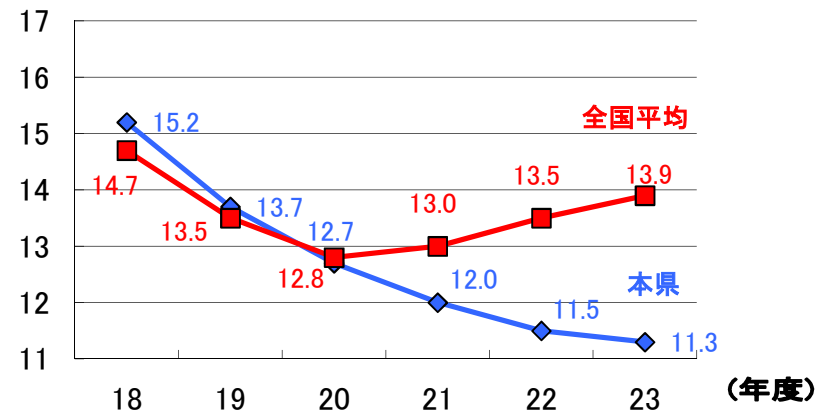
〔実質収支比率〕



〔財政力指数〕



〔実質公債費比率〕



「とちぎ未来開拓プログラム」の策定

これまでも人員削減や事務事業の見直し等の行財政改革に取り組んできました。

県債(借入金)の返済が高水準

高齢化の進展に伴う医療福祉
費等の増加

国の三位一体の改革により
地方交付税等が大幅に削減

今後の収支見通し〔H21～H25〕

- 貯金(財政調整的基金)は底をつく見込み……なのに
- 毎年度300億円を超える赤字(財源不足)が発生

財政再生団体転落を避けるために…

財政健全化のための「とちぎ未来開拓プログラム」の策定

<目標>

平成25年度から収支の均衡した予算を編成

<集中改革期間>

平成21～24年度(4年間)

<収支改善目標額>

約384億円(平成25年度までに達成)

(平成21年10月)

「とちぎ未来開拓プログラム」の概要

～栃木県財政の健全化に向けて～

《栃木県の将来像》

安心して暮らせ、人や環境にやさしく、元気な“とちぎ”

自律的な行財政基盤の確立による
県民満足度の高い県政の実現

県民ニーズへの的確な対応

- 次の時代を切り拓く人づくり
- 安全・安心な地域社会づくり
- 未来につなぐ環境づくり
- 活力あふれる産業の振興
- 未来につなぐ土台づくり

財政基盤の確立に向けて

- 内部努力の徹底
- 歳入の確保
- 行政経費の削減

○ 目指していく方向性

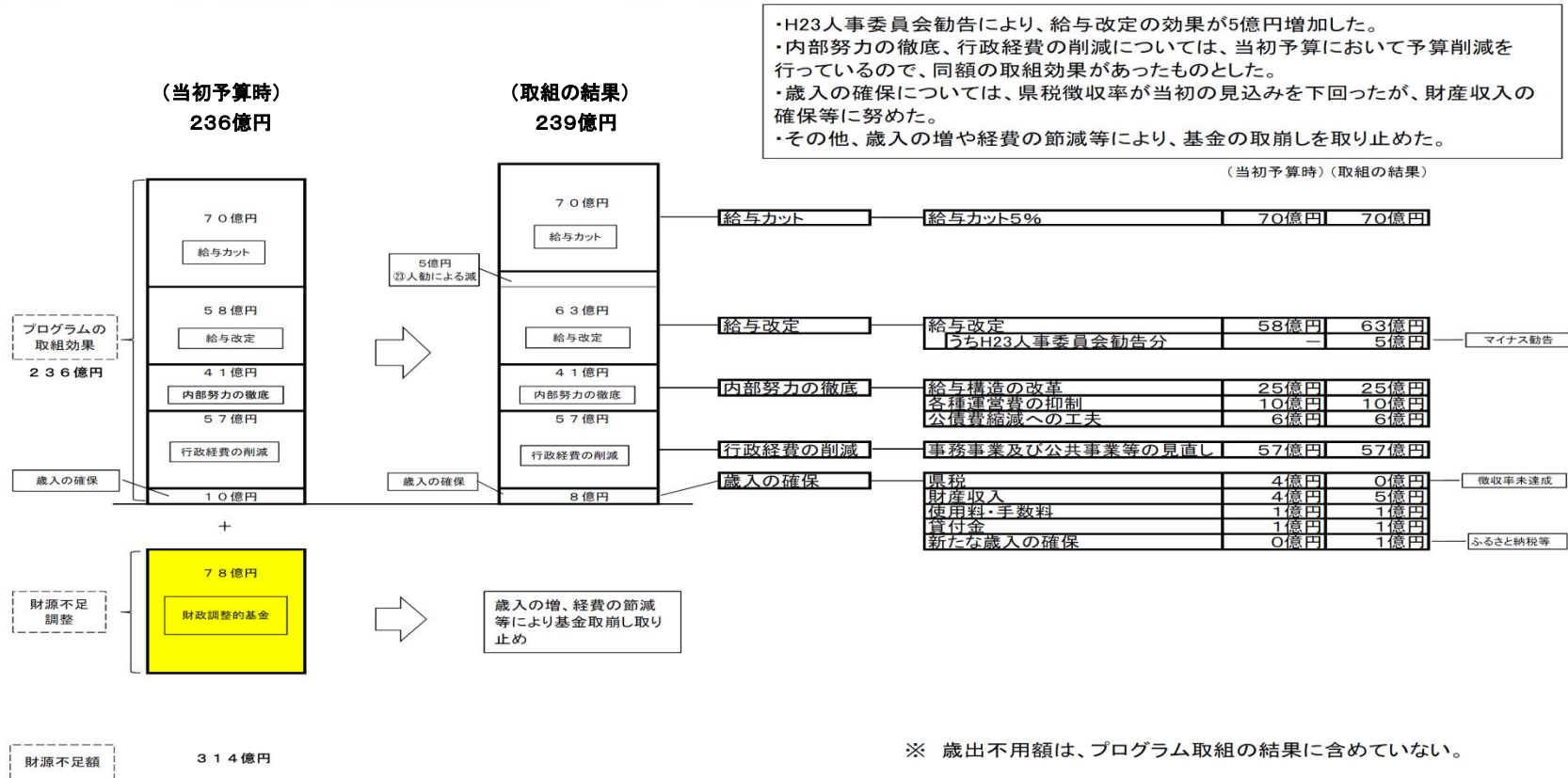
本プログラムは、改めてゼロベースの視点に立ち、聖域なく事業の見直しを進めるとともに、県民にとって最良の選択は何かという観点から、施策の優先順位を見極め、徹底した選択と集中に取り組むことで、自律的な行財政基盤を確立し、県民満足度の高い県政の実現を図るものです。



平成23年度におけるプログラムの取組結果

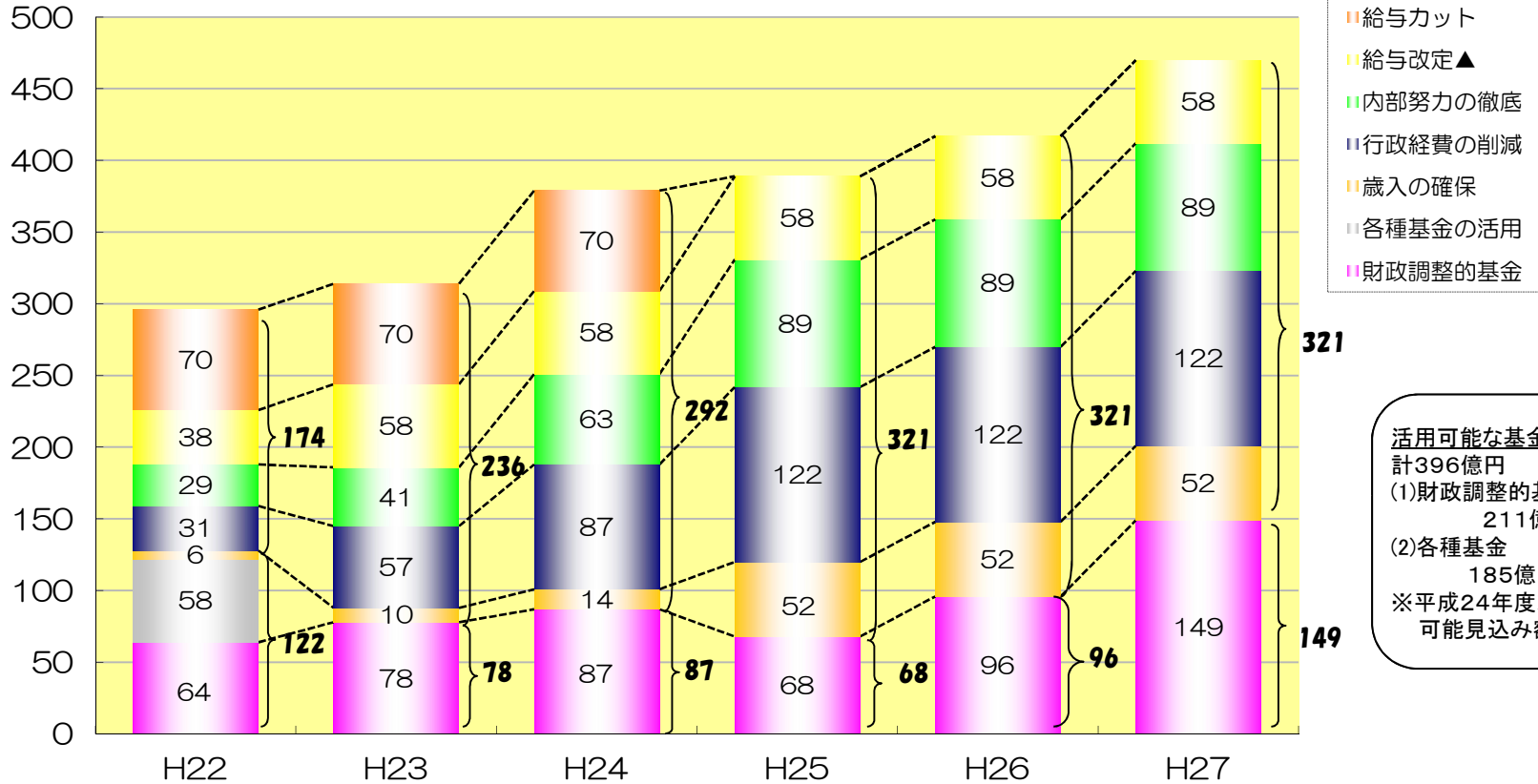
平成23年度は、「とちぎ未来開拓プログラム」に基づく取組(効果額239億円)等により実質273億円の黒字(財政調整的基金への積立208億円+繰越金65億円)となりました。

「とちぎ未来開拓プログラム」平成23年度における取組の結果



プログラム取組後の財政収支の見込み

(億円)



活用可能な基金の状況
計396億円
(1)財政調整的基金 211億円
(2)各種基金 185億円
※平成24年度末活用可能見込み額

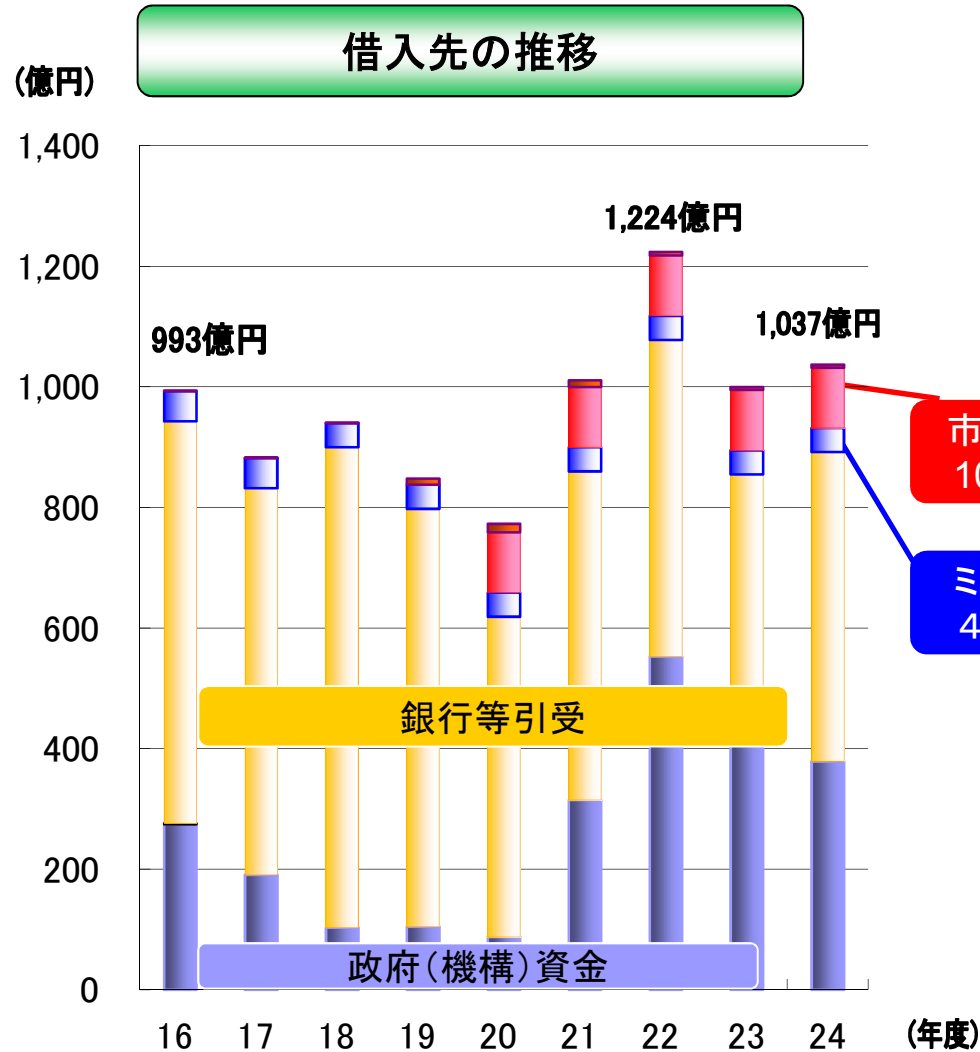
(単位:億円)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27
プログラム取組前の財源不足額	▲ 296	▲ 314	▲ 379	▲ 389	▲ 417	▲ 470
プログラムによる取組効果	174	62	56	29	0	0
前年度取組分		174	236	292	321	321
財源不足額	▲ 122	▲ 78	▲ 87	▲ 68	▲ 96	▲ 149
基金等充当額※	122	78	87	68	96	149
差し引き	0	0	0	0	0	0
年度末基金使用可能額 (H23末は484億円)			396	378	332	233

財源不足解消
「取組期間における収支見込み」財源不足額

※基金等充当額のH25～H27の額には、「繰越金の活用」50億円を含みます。
※平成24年度当初予算編成時の試算です。

県債の発行状況



- ・ 財政投融资制度改革の進展等により、政府資金から民間資金へシフト。

- ・ 21年度以降、臨財債の大幅な増加に対応し、政府資金が増加。

- ・ 15年度から住民の県政への参画を促すため、住民参加型市場公募地方債を発行。

- ・ 20年度から全国型市場公募地方債を発行し、より安定的かつ多様な資金調達を図る。

※ 一般会計ベース

※ 24年度は当初予算ベースの見込み



全国型市場公募地方債の発行について

〔24年度発行計画〕

発行額	100億円
年限	10年(満期一括)
条件決定日	平成24年11月7日(水)
発行日	平成24年11月30日(金)

〔シ団構成メンバー〕

金融機関名	シェア	証券会社名	シェア
足利銀行	20	大和証券	9
みずほコーポレート銀行	15	SMBC日興証券	9
栃木銀行	5	野村證券	9
みずほ銀行	2	みずほ証券	5
あおぞら銀行	1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5
新生銀行	1	東海東京証券	3
三井住友銀行	1	みずほインベスターズ証券	3
信金中央金庫	1	SMBCフレンド証券	1
足利小山信用金庫	1	岡三証券	1
大田原信用金庫	1	ゴールドマン・サックス証券	1
鹿沼相互信用金庫	1	しんきん証券	1
烏山信用金庫	1	モルガン・スタンレー-MUF G証券	1
佐野信用金庫	1		
栃木信用金庫	1		
計	52	計	48

格付けの取得

AA⁺
(安定的)

〔格付け理由等〕

○大企業の工場が数多く立地する「ものづくり県」で、経済力は都道府県の中でも上位にある。北関東自動車道の全線開通など交通インフラの利便性が高まっており、企業立地や観光による経済の底上げが期待できる。

○臨時財政対策債を除いた県債残高が都道府県の中では少なく、将来負担比率も良好であること。

○「とちぎ未来開拓プログラム」を着実に推進することで、収支の均衡した自律的な財政基盤を確立できる可能性が高いこと。

- 平成24年10月24日に(株)格付投資情報センター(R&I)から格付けを取得

- 信用力の向上、投資家の獲得に寄与するものと期待



- 今後も財政健全化に向けた取組を推進
- また、HP等を通じて県財政に関する情報を積極的に公表



問い合わせ先

栃木県 経営管理部 財政課
担当：中谷、長谷川

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-2022/2024
FAX 028-623-2030
E-mail zaisei@pref.tochigi.lg.jp
URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/index.html>

- 本資料は、栃木県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等を説明するための資料であり、特定の債券の売り出し、又は、募集を意図するものではありません。
- また、本資料及び本日ご説明いたしました将来の見通し、予測は、本県として、現時点で妥当と考えられる範囲で示したものであり、確実な実現をお約束するものではありません。